

## 梱包関連

プチプチの巨大ロール、これを小分けして納品して貰うと、当然ですが手数料が上乘せされます。そして、以前 ご紹介したような物干しザオにセットしてカットするやり方だと、ロールが重すぎて超危険！ 物干しザオが壊れる可能性が高いです。

そこで考えたのが、展示会用の折り畳み机2台並べて設置。その上に巨大ロールを置く やり方。ロールが向こうへ転がり落ちないように、コンビテナーを背中を向けて設置。

また、長さがザックリ分かるよう、厚紙製の定規をテーブルにセロテープで貼り付けました。

ロールは筒状の為、高低差が大きくなければ、テーブルの上で転がしてズル〜ツと（トイレットペーパーのように）切り離す部分を引っ張り出せます。

さて、切り方なのですが、気泡を切ってしまうと勿体ないので、気泡と気泡の間をハサミで綺麗にカットしようと頑張っていました。

しかし、このやり方だと、少しずれただけで そちら側の気泡を裂いてしまいます。

そこで割り切って、気泡を一系列 犠牲にすることに…。真っ二つに切り裂いていくと、ウーン…。ラクチン！

## 7. ぷちぷち

とにかく、音が壊れやすいチベタン仏具。「金属製だし、頑丈でしょ？」と雑に扱ってしまう方が多数…。

展示会で ご来場者様がふざけてお猿サンのシンバルみたいにティンシャをバンバン！やったりするたびに血の気が引きます。

冗談抜きで、強い衝撃を受けると、目に見えないヒビ=鬆(ス)が入って、音が駄目になります。  
(>\_<)

チィ~~~~~ン♪♪♪

→ チ〜ン♪

見た目、真っ二つになってないから分かりません…が、マジメに売りものになりません(T\_T)

具体的には、音が 小さくなる・くぐもる・伸びなく(短く)なる・分裂する…等々。リン棒で叩いてもコン、コン…と完全に無音の事も。ネパール側には、掛かった分だけ梱包費用を支払いますから呉々も宜しく、と重ね重ね伝え、必要な指示も出しています…が、事、音が出るモノに関してだけは、

『今まで欧米に出荷して、文句を言われた事 無いよ? (-\_-)』と、意識を共有してくれない方がほとんど。

他の商品に関しては、苦情を重ねる毎に しっかり梱包…してくれるかと思いきや、スタッフの面子にもよるのか、丸めてクッションにしてくれ、と言った筈の新聞紙が、折りたたまれたままで入ってたりも。完璧にやってくれて感動!…したかと思いきや、天地無用ラベル無し→横倒しで到着。中身がナ~ム~だったりも。

~~品質チェックも同様で、大助かり! すごく感謝してますし、頭も上がらないのですがネ。~~

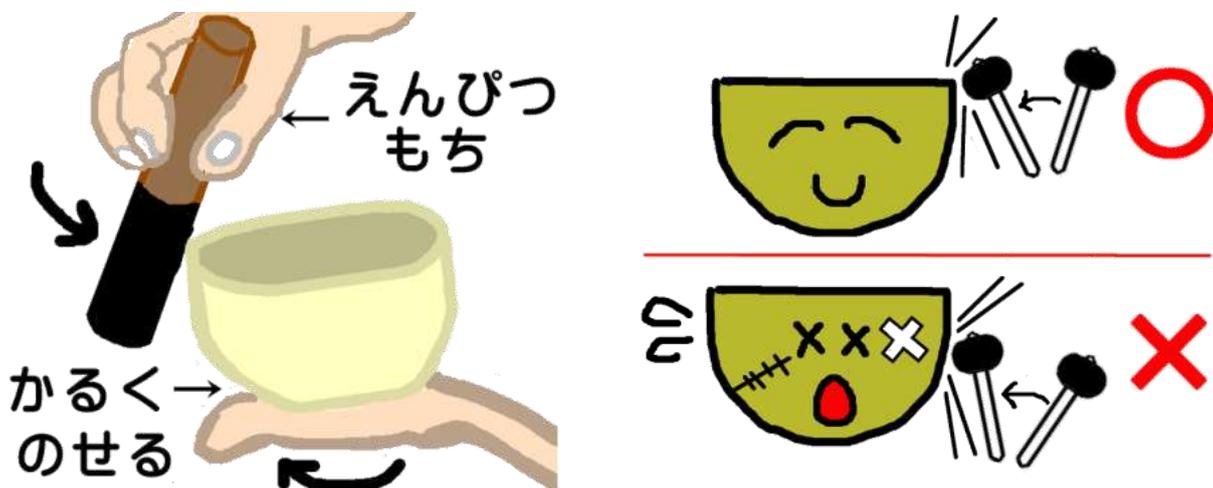
実は この辺り、ネパールの方がどう…ということは、ありません。日本の方も同じです。

悪気は無いけど、扱い慣れてない(よく知らない)為に、『金属製だし、大丈夫(頑丈)でしょ?』とガチャガチャ…と雑に扱ったり、(癒しフェアではお子様が要警戒 対象)十分な養生をせず小さな箱にギユムギユムと押し込んだ状態で返送されたりも。箱を開けるとボウルが縦や斜め、半分ひっくり返ってたり…。ボウルとボウルの間や、箱の底にも、ろくに養生(破損 予防の緩衝材)は無し…。トーゼン 幾つかは廃棄処分…。(遠い目)

昔、ネパール某社で 三鈷剣の訳有り品を選んで

買いたいと申し出た時など、社員さんが剥き出しの三鈷剣を両手に数本ずつまとめ持ち。ガチャガチャ！と音を鳴らしながらご登場。文字通り戦慄しました。弊社が作らせている三鈷剣は、高品質の真鍮を使用。手で磨き上げるとピツカピカになる反面、柔らかくて傷が付しやすいのです。今、お付き合い中のサプライヤーは、我々に合わせようと常に努力してくれています…が、他のサプライヤーとの付き合い始めには特に注意が必要。まあ、言っても実際にやってくれるかは別の話。欧米向けに実績有りと言語する社長さんでも、意外と雑…。

初期は件の三鈷剣を、2本 直に重ねた上でポリパック。輸送中に剣同士が擦れ合っ、届いた時には傷だらけ…。あと、上に重たいモノを載せてあった為に、届いた剣が ひん曲がったり、ヒビが入ったり、半ば折れてたり…なんて事もザラ。



シンギングボウルなんかは工房の床に お皿みた

いに積み重ね、山積み。私が音を鳴らしながら選んでいる横で、選抜に漏れたボウルを半ば放り投げる様にプラケースに しまっていました→ガツチャン、ガツチャン、ガツチャン！ さあ、ケースを段重ねしようかな～…→盛り上がっているボウルが邪魔だぞ？→ガシャン、ガシャン、ガシャガシャガシャ～…!!!(平に均す音) 仰天して、『私が選んだ(買うことにした)ボウルは丁寧に扱って下さいよ？』と同行者を通じ伝えました。

職人さんの汗と涙の結晶が、待ち望む消費者の手元へ届く前にパー…と言う以前、職人さん自身、完成品をコンクリの床に放り投げてます。まあ、ティンシャを5ヶまとめてビニールパック、薄いプチプチ一枚でくるみ、木箱にすし詰めが届いた頃に比べれば格段の進歩…。特に一番、衝撃を受けるであろう箱の底には gray color cushion board を敷いて、商品一段ごとにも挟むよう お願いして…が、'21 現在に至るまで「資材不足で…」など、きちんとやってないことが多いです。グレーが無くても、プチプチ1～2枚で済ませたりせず、プチプチを沢山 敷いてくれれば まだ納得するのですが…。箱を開けるまでドキドキもの。

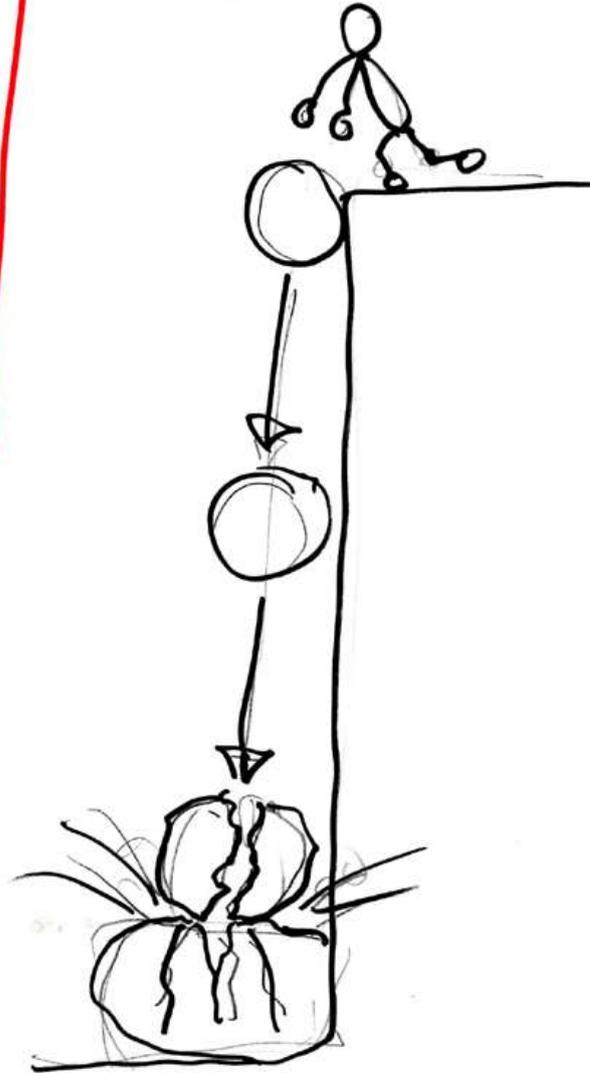
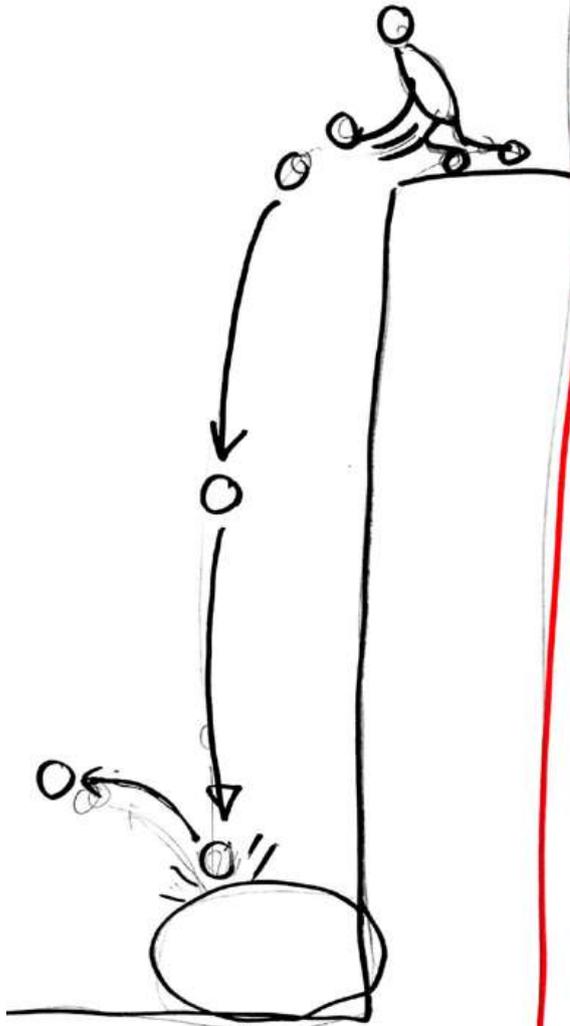


分かりやすいよう、タマゴをあつかうようにあつかってください、とおねがいたこともありますが、だめでした。そこで用意したのが↓。うまく伝わったかは不明…。



34kgs

Light weight



衣類みたいに「目一杯 詰め込んで運賃を節約してあげよう♪」と考えているかも知んですが、なんにせよ、頻繁に(時には大量の)発注が来る、欧米からの苦情が無い限り、意識改革の徹底は困難かと…。

国によっては、荷物をポ～イ、ポ～イと投げるように扱うそう。重ければ重いほど、ちょっとした高さから降ろすだけで衝撃が。

残念な事に、ダンボール箱と違ってクッション性が全く無い木箱がメイン。おまけに30キロオーバーなんてザラです。最近はティンシャは15キロ以下、シンキングボウルは20キロ以下にしてくれ、と御願ひしてるのですが…。

あと、隙間があると中で商品が踊ります。車に乗る際にシートベルトをするように、隙間を埋めておくのは意外と重要…。もちろん、カッチカチにコンクリを流し込んだ様に固く詰めるのではなく、ものにもよりますが、柔らかいクッションをたっぷり詰め込み、卵の黄身が殻の中で多少は動いても裂けないような、そんな感じが宜しいかと。

『車のシートベルト』をたとえに持ち出したりもしましたが、これまた うまく伝わったかは不明…。

某アニメ映画みたく、空から女の子が降りてくるようにはいきもはん…。さて、長くなりましたが、そんな訳で展示会にはお持ち帰りを御希望のお客

様の為、ロールからカットしたプチプチを大量に  
持参。忙しいときにも便利な、ピィ〜…ツと手で  
千切る事も可能な高級品を使用。(大は小を兼ねる。  
アバウト、45cm幅でカットしてます)



物干しザオにロールを通し、S字カンで垂らした  
チェーンの長さを目安に、長目のハサミで竿に  
沿ってカット。短時間で沢山、切れるようになり  
ましたトサ、トサ、土佐犬…。

但し、物干しザオ本来の用途とは異なります。  
真似しないでね？ 真似するなら、自己責任で！

(SEKISUI 多機能ものほし台『ほすおー』HD-40C)  
(シルキー 事務用バサミ ハイネバノン BNT-185)





## 18. オリコンと台車

折りたたみコンテナ(折り畳めるプラスチック製のBOX)こと、オリコン。そして専用の台車。弊社が購入した折り畳みテーブルは机の前に前垂れ(パネル)が無い為、下にオリコン台車を滑り込ませられます。

こうすると引き出しのように使えて便利。故に商品の予備も机の下。但し、机の脚と脚の間の距離や、潜り込まれる台車の外枠サイズや車輪の可動範囲(?)。床から天板までの高さ、台車にオリコンを搭載した状態での高さ、そして特に注意しないと駄目なのが、脚と天板の付け根の出っ出っ張っている箇所…。(ここに引っかかると、想定した台数を収納出来ないんですよね…)

数値を記録するだけでなく、実際にやってみたほうが早く、また、悲劇を防げます。

搬出入では、車輪が大きくガツシリした台車が便利ですが、机の下に入れる際は、車輪が小さく肩幅が狭い旧式(銀色)を使用。引っ張り出したり、押し込んだり、が楽なんですよ…。あと、新たに購入したミニのオリコンを台車に載せてみたら

ちょうど2つ分の大きさと、2段重ね(4箱)で丁度

## 机の下に入って超ラッキー☆

PS ; 最近は出張販売に頑丈なプラケース(サンボックス#13 ?)を愛用。折りたたみ式の台車と一緒に車に搭載。(ダンボール箱だと中身が見えないんですよ…)会場持参の際は、(昔、テルウェルで五千円した)普通の台車に搭載。それ以前に購入した台車は二輪しか動かなかつたり、安物買いの銭失いで懲りましたからな…。





19. 行きは まだ良いけど、帰りが大変…。

多品種少量が売りの輸入雑貨。新入荷・廃盤・欠品・再入荷の繰り返しで在庫も不定。大手企業のように定番を決まった数だけ、決まったやり方で梱包→会場へGO！なんて夢物語…。

それこそ、会場行きのトラックが集荷に来る寸前まで、ヒィヒィ言って、壊れない様、取り出しやすい様に展示スペースに飾れそう(置けそう)な分だけ、詰め込んでます。

更に大変なのが帰り…。数だけ多くて、コワレモノだらけ。最終日は3時間ぐらい前から(体面を考え、余り派手にはやらない様にしつつも)ゴソゴソ

…と帰り支度を開始。売れ残った分 持ち帰る分をザックリ整理。下に頑丈な物、上に脆い物。

あと、オリコンタワーでもコンビテナーでも、上に重量物が固まってるると転倒の恐れ有り。横に偏ってれば動かす際にトンデモナイ方向へ勢い付く事も。勢いを付けて運んでいると、制御を失敗して人に当たってしまったり、器物破損してしまったり、洒落にもならないことに…。

テキトーにバランスを考えて載せ、出来ない場合は運転手さんに分かる様、簡単な張り紙を貼り付けとくのも手。

## 20. マジックテープとダンボール箱

トラスコ中山のマジックテープは御値段相応の働き！

弊社では三段バスケットとハンガーは、組み立てた状態でコンビテナーに搭載。会場での組立の手間を省いてますが、移動の際に、動かないよう、固定するのもやはり、マジテを使っています。(但し、自己責任！)

長く使ううちに劣化するの、化成品の宿命…。劣化したと思ったら『ご苦労様…。』とゴミ箱に捨てます。ダンシャリシャリ☆

展示物を入れるダンボール箱の蓋をガムテープで留めてると、開封の度に箱を傷めてしまう為、

やはりマジテでグルッと一周。きびってます。頑丈なので、持ち手(ハンドル)代わりにもなって、  
壹兆弐石 一石二鳥！

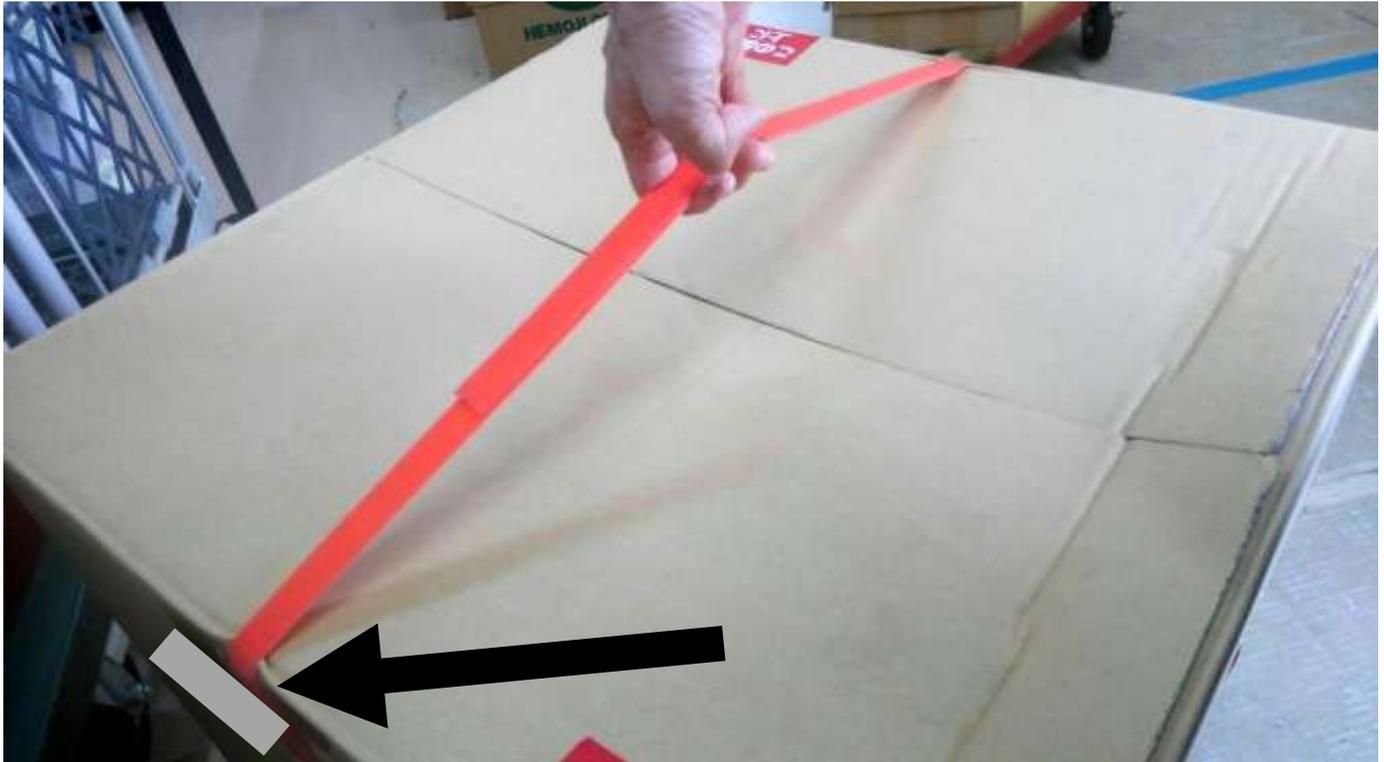
それだけでなく、荷造用の透明テープ(積水)をマジテに上貼りしてダン箱に固定しておけば、開封→梱包の間で、マジテがどこかに行ったりせず、イチイチ探さずに済み、出張販売の際に手間要らずで一席山頂！さらには、コンビテナーの棚板の上に載せる際、棚板にスノコみたいな隙間がある場合、向き次第ではマジックテープが引っかかるのですが、それを防ぐ効果も。

※通販の品質も、自己責任で御願います。安いだけあって、製品名等は全く同じなのですが…ネ。大手通販会社のソレは、大量購入する代わりに相当値切るそうで、メーカー側も品質を落として製造するのだとか。油断 禁物！





上面(天面?)には透明テープを貼りません。



側面上、横方向に一枚貼り付けて補強。

コンビ・テイナー移動の際、鉄の棒(バー)がブラブラして人にぶつからないよう、本体に固定するプラスチック部品。通常は付属しないので、マジテで固定。





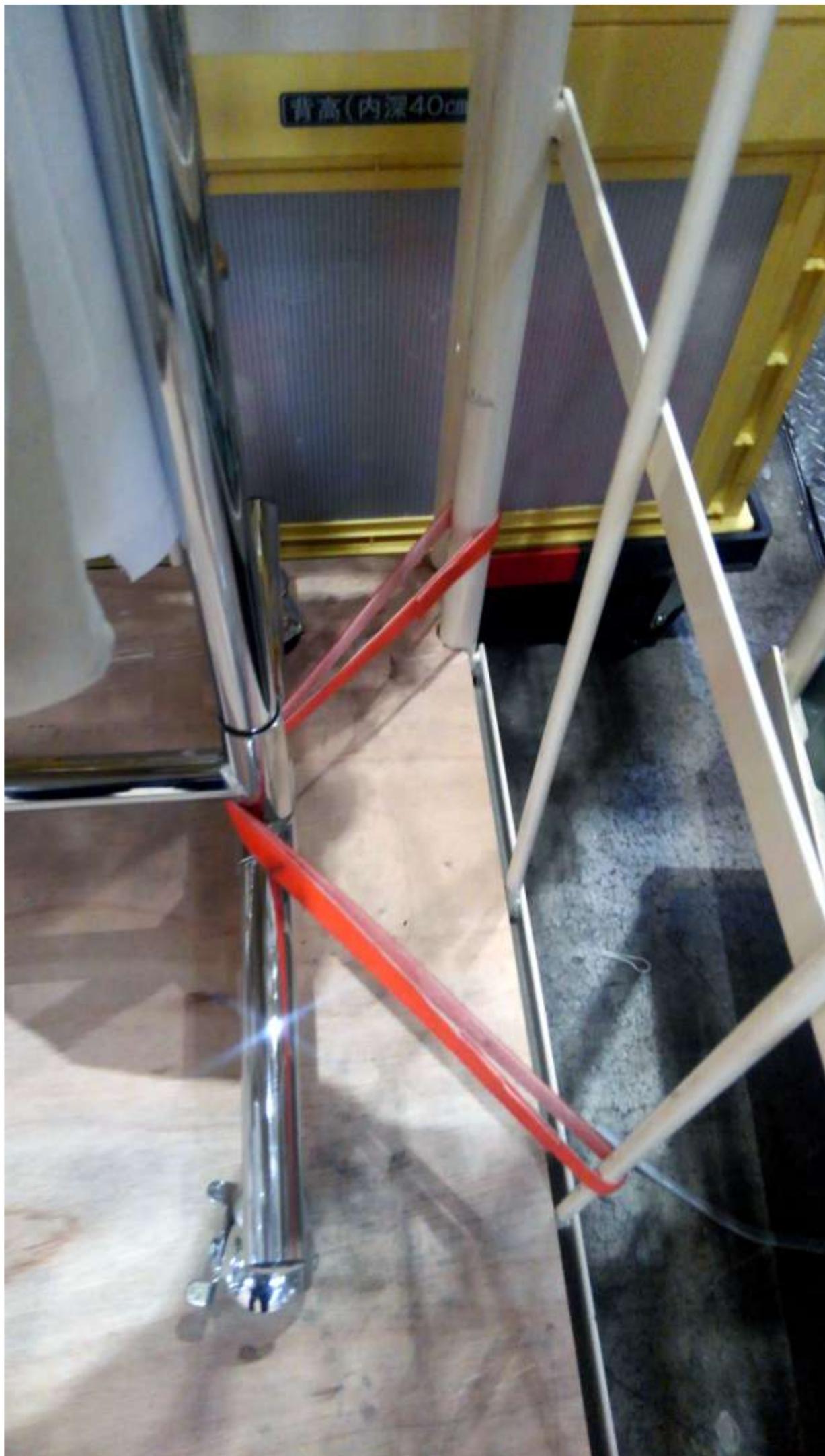
コンビ・テイナーを折りたたむ際の固定にも、お役立ち♪

ブレーキのONに赤い印が無いのも普通。赤い油性マジックで塗って分かりやすくしてます。(本来ならば、薄暗いトラックのハコ内でもよく見えるよう、蛍光塗料入り、かつ、簡単に落ちないペンキを塗った方が良いでしょうが…。)



展示会中は速度重視！ 手短に済ませられる様、一目で分かる様に している…つもりです。

背高(内深40cm)





↑素人なりに、こんな固定方法も…。

バッグ類を大きなS字フックで吊して展示する為のハンガー。コンビ・テイナーの床は穴ぼこだらけなので、そのままハンガーを載せると、小さな車輪が落ちこちます。そこで、コンビ・テイナーの柱の位置をくりぬいた合板(スツポリはまります)を床の上にかぶせた上で搭載。

コンビ・テイナーによっては、一番上の棚板が組立前でないと取付不可能な事も。積み込み完了寸前にやり直した経験もあり。

説明書を自作、括り付けてます。(コラムに掲載)

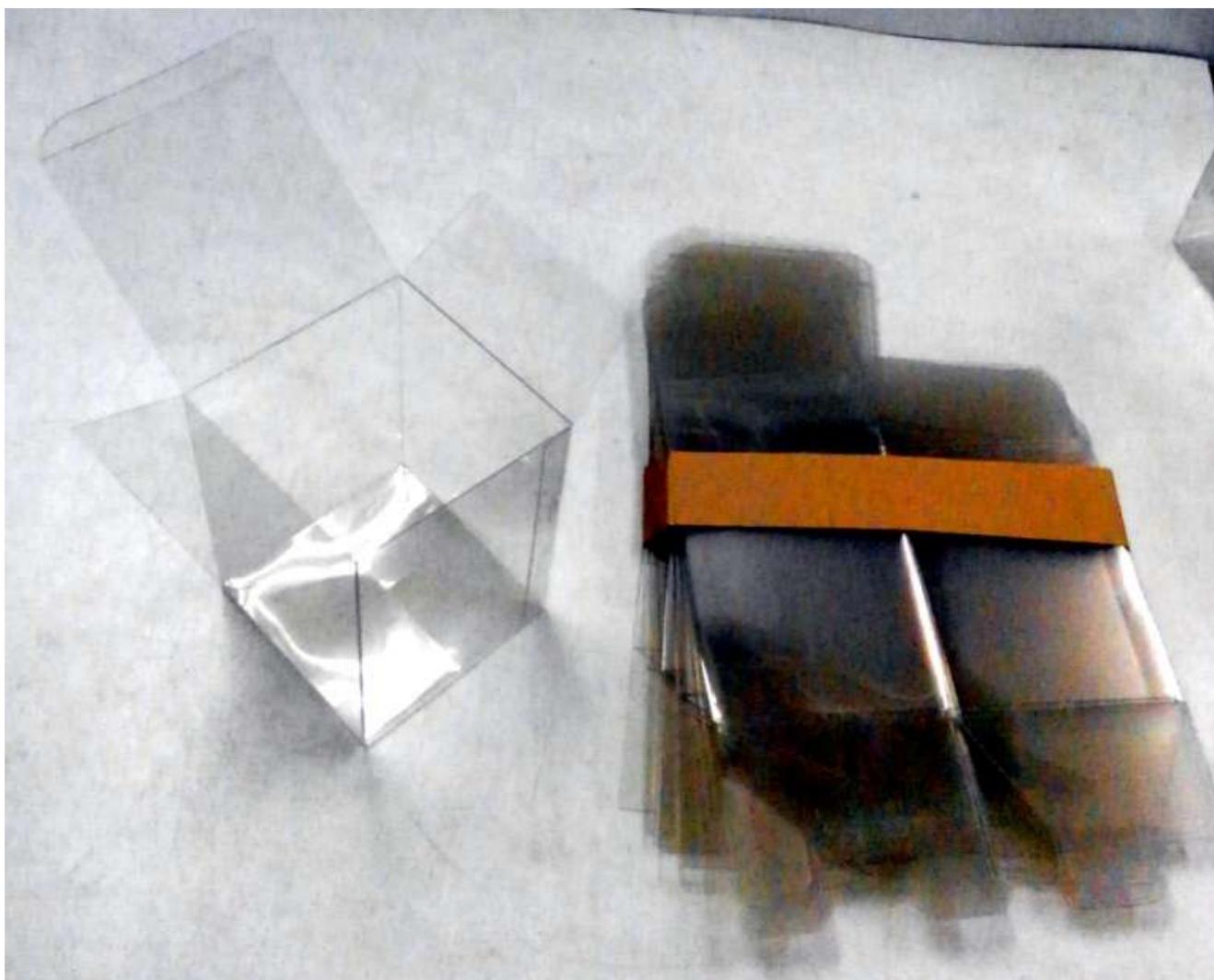
## 21. 陳列

BOXに商品をグリグリと押し込んだり、ピラミッドみたく積み上げると『(引っこ抜いた後で)元に戻せるかな…?』と不安がられて敬遠されます。よしんば手に取っては貰えても、脇にポイツ…と捨て置かれたり…。

手に取りやすく、戻しやすい陳列がベター。(万引きを警戒する場合は、逆…)

## 22. 梱包

チベタンベルはベル同士でゴツチンコ!しないよう、小箱を使用。小さいものはアロマ トライアルセット・ミニ廃盤に伴い、使わなくなった塩ビケースを流用。



但し、塩ビに付き、出し入れの際にカドで手を切らないよう、セロテープを貼ってガードしてます。





中ぐらいのものは、適度なサイズの組立式 紙箱をシモジマから取り寄せて一つ一つ入れてます。

紙箱の場合、横の蓋は折らず、まっすぐのままにしておき、交差する様にコンビテナーにセット。上部がぶつかり合わない為の仕切り板代わりにしてます。プラス、コンビテナーの底には社内 通称『ゴザ』（※セルマットのこと）を敷いておけば、衝撃対策もそこそこ。

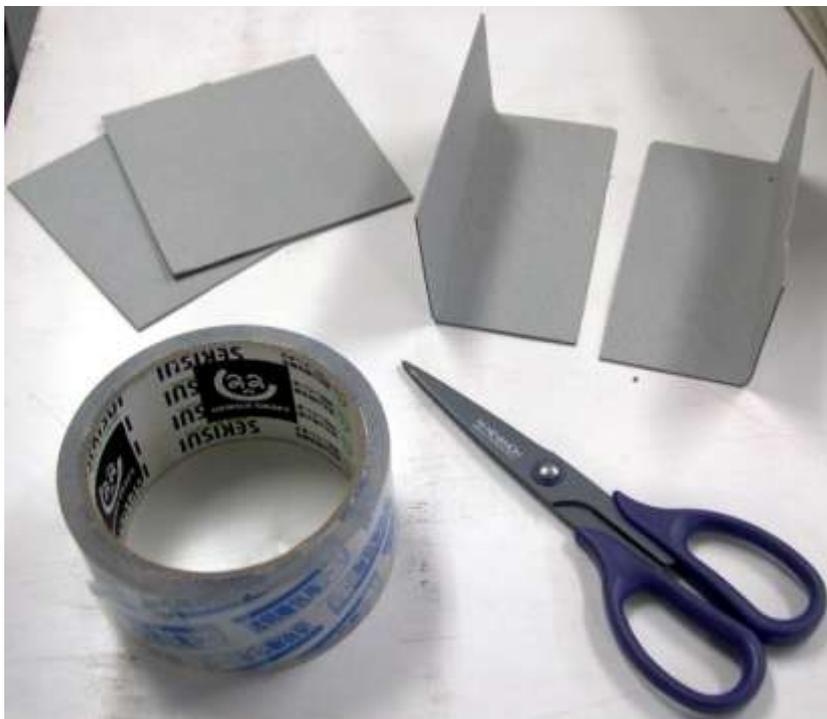
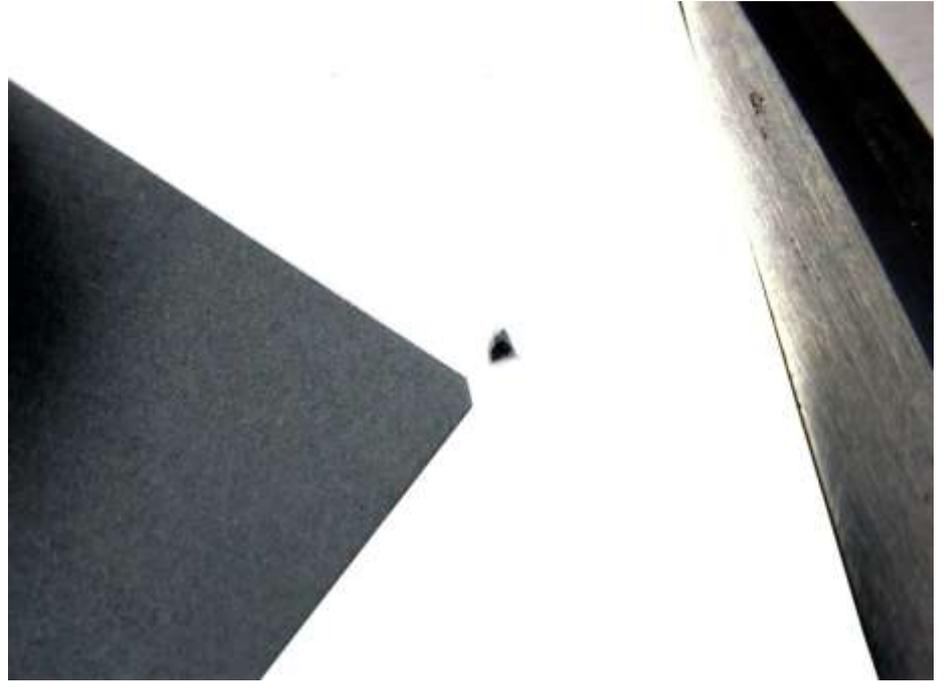
組立箱は高さも幅も様々。最適サイズを選んで買ってます。背高のつぽなヒンドウプージャーベルは、縦長で細い箱を使用。



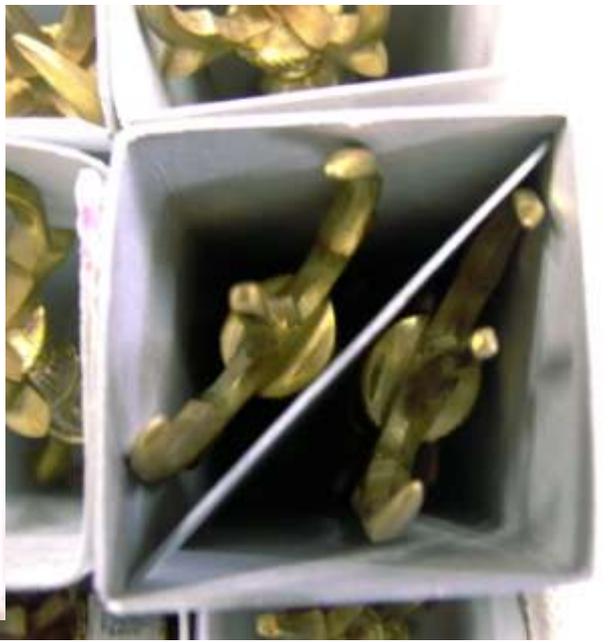
※メインの蓋はカットせず、内部に折り込み、温存…。一旦、蓋をチョンパ！してしまうと、他の事に使えませんからね。まあ、使っている内に汚れてはいくのですが、そこはMONOの消しゴムで擦れば消えたりもしますし。



五銛杵や三銛杵の小さいものは、『せいとんボックス/仕切りケース』のマスに、厚紙で作った囲いを差し込んで、ヴァジュラ同士がごつつんこしないようにしてます。(チベタンベルは無理。下の方に隙間があるので、ベルのフチがガツンガツンしちゃいます)。





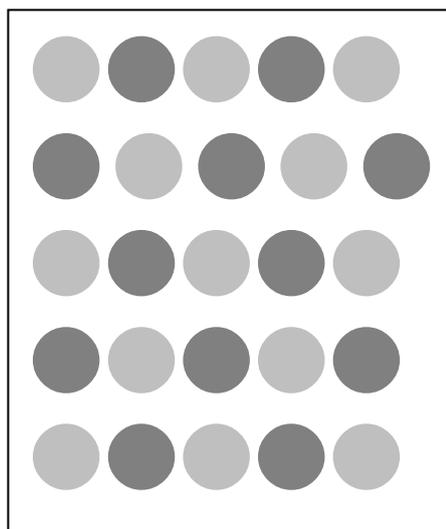
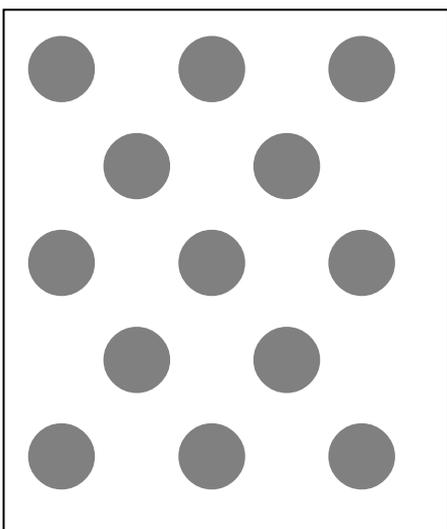


そうそう…。真鍮製のヴァジュラ等をぷちぷちで梱包する際は、出来るだけ二重か三重にしています。同じ真鍮でも、安物は ともかく、バージン(新品)で高品質の真鍮を材料に 手で磨き上げた高級品は傷がつきやすいんです。

あと、豆知識ですが 新聞紙で包む場合、同じ二枚を使うにしても、一度に二枚 重ねはせず、一枚でくるみ、もう一枚で更にくるむ方が、隙間(空間)が出来て頑丈 だそう。by 社長からの又聞き

なお、展示会で卸売する際は、急いで包まないといけません。癒しフェアの末端 消費者様とは異なり、業者様は数が5～6ヶとか多いですから、大きさにもよりますが、3～4ヶをまとめてぷちぷちで海苔巻きにしたりも。

普段の保管や持ち運びの際は、箱の底に十分なクッションを入れた上で、↓のように、箱に飛ばし飛ばしに碁盤目状に入れて、その上にぷちぷちを敷いて、空いてる所に置いていっています。但し、重量に注意!



高所から飛び降りると、足が痛い(衝撃が大きい)ように、重量が大きいと、ちょっとした高さから落とした(降ろした)だけでガシャツ！

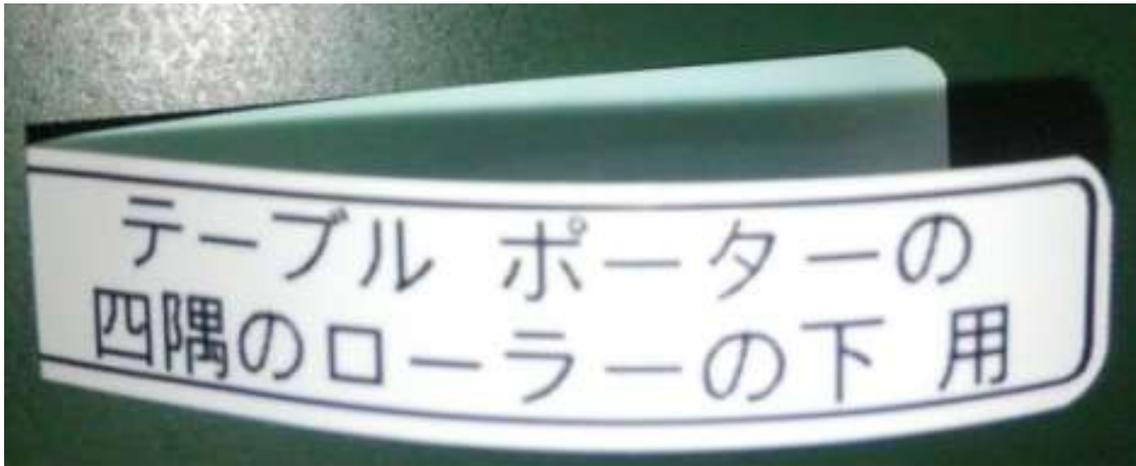
空いたスペースが勿体ないなら、軽目のモノを入れてもよし。基本、ティンシャは金属の円盤2枚を革紐でつないでますが、まとめて包まず、間にプチプチがはさまるように、海苔巻きしています。

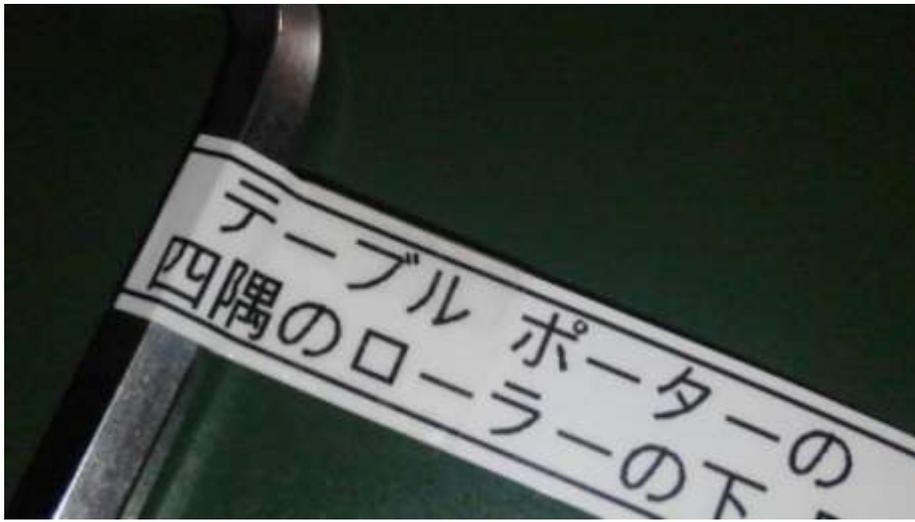
23. 購入した飲み物が。誰のか分からなくなるのも良くある事。ペットボトルの蓋にマジックで名前を書いています(書けない事も有り…)。(インクが結露で浮いてしまったときは、セロテープで上貼りするとマシになるかも?) 面倒な場合は、自分の分だけ、包装を剥がす等。



24. ノートPCやホットプレート等の電化製品は、プラグ付近のコードにテプラを貼ってます。コンセントに複数のプラグが差し込まれていると判別が困難、若しくは手間。ブースからの帰り際、万一を考えて引っこ抜く際に楽ちん。普段でも、差し込み口が複数合ってスイッチでON/OFF可能な延長コードを使ったら、このテクニックは便利です。工具でも何に使うかやサイズを印字したテプラを貼っておくと便利。







ハンガーラック  
支柱 底留め用

テーブル・ポーター  
打掛錠・ネジ締め用